

定例市長記者会見録

日 時：5月27日(月) 午後1時30分～1時55分

場 所：本庁舎6階 特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長、山田副市長

報道機関 中日新聞、朝日新聞、毎日新聞、中部経済新聞、共同通信社

本日の案件は三つです。

1 番目は「マイナ保険証の利用率、マイナンバーカードの医療費受給者証としての利用状況」についてです。

本事業は二つの要素があります。まず一つ目はマイナ保険証の利用率についてです。マイナ保険証は、全国で取り組まれています、なかなか利用が広がっていないのが現状です。その中で一宮市は、2024年1月と2月の利用率が愛知県内38市の中でトップでした。理由として考えられるのは、市民の皆さまが比較的新しいことの受け入れに柔軟であることや、医療機関や薬局の窓口でもカードの利用を薦めていただいているということだと思います。1月と2月の利用率が全国は4.6%と4.99%に対し、愛知県は3.56%と3.71%で1ポイントほど低い中で、一宮市は全国平均よりも高く、1月が4.96%、2月が5.26%でした。国の予定では秋に利用率50%をとして、12月には紙の保険証を新しく発行しないとのことで、市としてもできることをコツコツと進めてまいります。引き続き関係者の皆さま、市民の皆さまに感謝しながらこの数字を上げていきたいと思っています。

二つ目は、マイナンバーカードを保険証としてだけでなく、市町村が独自で給付している医療費の受給者証として利用するというプロジェクトです。デジタル庁主導のプロジェクトで、全国で五つの自治体のみが実施しています。市内で利用できるのは一宮市立市民病院だけなので、3月末から実施し約1か月半で利用者が100人弱という状況です。子ども医療費で一番利用いただいているという状況です。

こうした市町村独自の医療費給付と合わせたデータベースの連携は、厚生労働省も2～3年かけて全国に広げるということですので、一宮市立市民病院で実施してみて、苦勞する点や工夫しなければならない点などを洗い出し、実験資料として貢献できればと考えています。

2 番目は「難聴の高齢者が補聴器を購入するための助成を始めます」についてです。

非常に関心が高い事業で7月1日から開始することになりました。対象となる方の要件は、①市民税非課税世帯の方、②身体障害者手帳が交付されていない方、③医師から診断を受けている方、④他の法令に基づく助成を受けていない方などです。補助額は、購入金額の半額で上限は3万円です。他市では、豊田市や岡崎市も今年度から補助を始めるとのことです。

3 番目は「令和 6 年度 6 月補正予算（案）に計上された主な事業」についてです。

No. 1 「旧中央看護専門学校・旧スケート場の解体工事に向けた設計」

中央看護専門学校は 2021 年 3 月末に閉校、スケート場は 2022 年 3 月末で廃止となりました。2022 年には、国際芸術祭「あいち 2022」の一宮市会場の一つとして使用しました。それ以降も建築物としてはまだ使える状態だったため、使用方法について議論はありましたが、スケート場も含めて解体することとなり、解体工事に向けた設計を補正予算で提出します。

No. 2 「防犯対策充実事業」

一宮警察署と連携して市の防犯カメラをします。今年の 2 月に木曽川町で連続強盗事件が発生し、まだ容疑者の段階ですが、若い人たちが捕まりました。この 10 年ぐらい小中学校などの公共施設や町内会への防犯カメラ設置に対して支援などを行ってきましたが、犯罪抑止効果が高まるよう警察とも相談しながら、適切な箇所に設置したいと考えています。

No. 3 「尾西商工会館のエレベーター改修に対する補助」

全体工事費およそ 2,000 万円のうち、県からの補助が約 1,000 万円ありますので、その残りの半額となる 500 万円弱を市からも補助するものです。

No. 4 「「ラーケーションの日」の実施のための職員配置」

愛知県が創設したラーケーションの日を実施するにあたり、できるだけ子どもたちを休みやすくするとともに、学校の教員も休みやすくするための職員配置に関する補正です。全額が愛知県から補助されるもので、各小中学校に非常勤講師を 1 名ずつ配置します。

No. 5 「シン学校プロジェクト」

小中学校の校舎の建て替えに際し、単純に建て替えるのではなく、いろいろな工夫を検討していく中で、今後その対象となる学校の絞り込みを行います。対象の学校ではワークショップを開催し基本計画を策定することになり、そのための必要な経費になります。限度額 8,000 万円の債務負担行為を設定することになっています。

No. 6 「平島公園野球場のスコアボードの改修工事」

平島公園野球場のスコアボードは老朽化などで修繕が必要な箇所がいくつかありますが、修理する部品も今は作られていないということで、全体を新しく作ることになります。現在のボードは得点や選手名が表示されますが、それに加えて球速や文字情報も自由に表示できる二画面式のスコアボードへ改修します。こちらも債務負担行為で限度額 2 億 9,500 万円を補正予算として 6 月議会に提出します。

最後に「令和 6 年 6 月市議会定例会単行議案」についてです。

「議案第 52 号 ツインアーチ 138 エレベーター改修工事の請負契約の締結について」

ツインアーチ 138 は 1995 年に完成し、2025 年で 30 年を迎えます。いろいろなところに老朽化がみられますが、中でもエレベーターは今後も安全に安心してご利用いただくため

に改修工事をさせていただきます。エレベーターは 2 基ありますので、1 基ずつ順番に工事を行うことでできるだけお客様に迷惑をかけないようにしますが、ご不便をおかけします。ご理解とご協力をいただければと思います。

私からの説明は以上となります。

質疑応答

■マイナ保険証の利用率、マイナンバーカードの医療費受給者証としての利用状況

(記者) 今後さらに利用率の促進に向けた取り組みはありますか？

(市長) 紙の保険証を利用するよりも医療費が 20 円安くなります。また、医師が投薬情報や健診結果を見ながら診断できるため、日本医療全体のレベルアップにも繋がります。これらのメリットを医師会さんなどと一緒に市民の皆さまに周知していきます。

(記者) マイナ保険証の利用率が高い要因は？

(市長) マイナンバーカードと保険証の紐づけをしている市民が多いことが一因です。マイナ保険証の登録率が全国平均で約 57%のところ、一宮市の場合、国民健康保険・後期高齢者医療保険で約 65%と 8 ポイントほど高くなっています。新しいことに抵抗感を示さずにやったださる方が多いというのは心強いです。

■難聴の高齢者が補聴器を購入するための助成を始めます

(記者) 今までも補助制度はありましたか？

(市長) いいえ。新規の事業です。

(記者) 中核市以外の実施状況は？

(市長) 近隣では、犬山市、稲沢市、あま市が実施しています。

■令和 6 年度 6 月補正予算(案)に計上された主な事業

No. 1 「旧中央看護専門学校・旧スケート場の解体工事に向けた設計」

(記者) 解体工事の実施は、令和 7 年度ですか？

(市長) はい。今年度は設計のみです。

(記者) 跡地をどうするかといったことは、まだ検討段階ですか？

(市長) 実際に利害関係者や地域を交えての議論は、これからになります。

No. 4 「「ラーケーションの日」の実施のための職員配置」

(記者) 県からの補助はありますか？

(市長) 全額が県から補助されます。

(記者) 教師の働き方改革について、市長として何か考えはありますか？

(市長) 合理的にできることは、効率化を進めればいいですが、児童・生徒と向き合うところはどうしても情が入ります。そこで割り切れないところがあって先生方も苦勞をしているようです。夜間の留守番電話の導入やお盆・正月に出勤しないなどといった普通の職場に近い取り組みは進んできたと思います。小中学校の校舎が古いので、勤務環境としてどうかと思うところもありますが、子どもたちが学ぶ場として、令和の時代にふさわしいように建て替えていきたいと考えています。

No. 6「平島公園野球場のスコアボードの改修工事」

(記者) 完成予定はいつですか？

(市長) 令和7年度中です。

(記者) 野球場を全く使えない時期はありますか？

(職員) 令和7年10月から令和8年2月頃までは使用不可にする可能性もあります。

■その他

(記者) リテイルビル（旧・尾西繊維協会ビル）について、近代化産業遺産にも選ばれた建物ですが、解体案も出ています。市の所有物ではありませんが、保全に関して何か考えていることはありますか？

(市長) 具体的にどう困っているのか把握していないので具体的な回答にはなりません、この地域の産業の中核拠点として長年活躍してきたと承知しています。市内にたくさんあったのこぎり屋根も姿を消しつつあります。そういったものが完全に消えていいわけではないというところは市民のコンセンサスが得られると思いますが、どの段階で行政が介入するのが適切なのかといった議論はまだ煮詰まっていないのではないのでしょうか。みんなで考えていきたいと思います。